

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

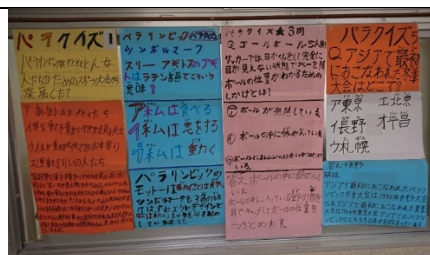
事業実施報告書

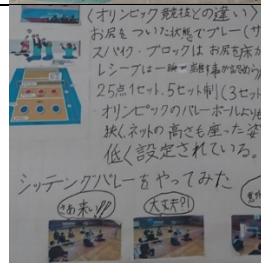
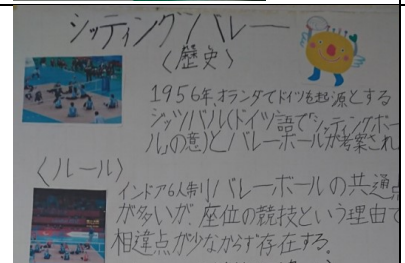
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V **スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成**

道府県・政令市名【 長野県 】

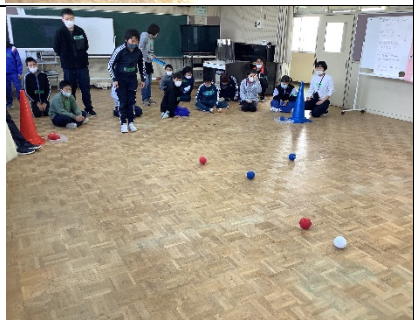
学校名【 長野県長野養護学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	中学部1, 2年 30名 高等部1, 2, 3年 61名 ほほえみ教室 10名 高等部すざか分教室 32名 計 133名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間、総合的な探求の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・パラリンピック種目のボッチャや、サウンドテーブルテニスを通して、スポーツやパラリンピックに対する興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心を育成する
5 取組内容	・パラリンピックについての紹介 東京パラリンピック開催前に、パラリンピックの歴史、競技(ボッチャ、車椅子バスケット、シットイングバレー)のまとめを掲示し、全校に紹介した。





• ボッチャを一緒にを行うことを通して、中学生と高校生など様々な校内での交流を行った。



• 自分たちのオリンピック「すざかオリンピック」を企画し、種目としてボッチャやサウンドテーブルテニスを取り入れた。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 東京パラリンピックの前後であったり、パラリンピックに関する掲示をしたりしたことにより、生徒のパラスポーツに対する関心がより高まり、意欲的にボッチャ等に取り組み、楽しむ姿が多かった。 • 本事業をきっかけにボッチャ等の用具をそろえたり、教師が道具を工夫したりしたことで、昨年度以上にパラスポーツを行う機会が増え、身近なスポーツとなってきた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ボッチャ等のパラスポーツを知る・体験するという活動とともに、それを使って、自分たちのオリンピックを企画して楽しんだり、異学年等の交流をしたりする等、さらにパラスポーツが身近なものとなるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ボッチャに関しては体育館にコート(2面)を作ったが、さらに活動が広がるように、レク用ボッチャシートを導入していけると、様々な場での取り組みが広がりそうだ。 • 今年度はコロナ禍の影響のため、パラアスリートや指導者に来校していただくことができなかった。「本物のふれる」という点から様々な活動の広がりが期待されるので、今後ぜひ機会を作っていきたい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 体育の授業等で継続的に取り組んでいく。 • 行事の一部の中に取り入れたり、総合的な学習の時間や総合的な探求の時間で更に活動を広げていったりすることも検討していく。